

令和7年11月27日(木) 令和7年度 第8号



さいたま市立泰平中学校

学校だより

さいたま市北区本郷1991 電話：048(651)4134

【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

【目指す学校像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、
生徒一人一人に夢と生きる力を培う学校
— 大好きTAIHEI —

「ありがとう」

校長 宮内 和典

令和7年も残すところ1か月を切り、12月(師走)に入りました。一層寒さの厳しくなる日々、備え風邪などひかれないよう、体調管理に気を付けてください。また、何かと忙しい時期とは思いますが、事故などにも気を付けていただき年末に向けてお過ごしいただければと思います。

さて、今回は、タイトルにも示した「ありがとう」についてです。ありがとうの語源は、形容詞「有り難し」です。「有り難し」は、「有ること」が「難い(かたい)」という意味で、「滅多にない」や「珍しくて貴重だ」という意味を表しているようで、そのことが起こってくれたことに感謝することから、「ありがとう」という言葉になったそうです。

それでは、「ありがとう」の反対語は何だと思えますか。「滅多にない」の反対になるので、「当たり前」となるそうです。この、当たり前という言葉には、2つの意味があり、①「わかりきっていて言うまでもないこと」②「何も変わったこともないこと」です。この2つの意味を考えた際に思うことの1つとして、家族や親しい仲間との関係が考えられるのではないのでしょうか。家族や親しい仲間はいつも一緒にいることがあまりにも「当たり前」で、「ありがとう」という言葉をあまり言わない相手かもしれません。しかし、まずは、当たり前してもらっていることを当たり前と思わずに「ありがとう」を素直に言うことから始めてみると良いかもしれません。そして、「ありがとう」を言うことが習慣づくと、相手の自分に対する態度、そして、何より自分自身の相手に向き合う姿勢が変わってくると思うのです。感謝の言葉がコミュニケーションを円滑にし、良い連鎖を生み出していきます。

ですが、「ありがとう」の言葉は、行為を受け取った相手からの感謝の言葉です。言われてうれしい言葉ですが、「ありがとう」という言葉が必ず返ってくるとは限りません。「人にかけて情は水に流せ。人から受けた恩は石に刻め」という言葉があります。見返りを求めず、そして、自身の感謝の心は内に秘めるのではなく、しっかりと言葉で相手に伝えていく。たった一言の「ありがとう」が、自分も相手の心も豊かにしていきます。今年も残すところ1か月、1年を振り返り「ありがとう」の感謝を伝えていきましょう。師走で気ぜわしくなってきましたが、そんなときだからこそ御家庭におかれましても、「ありがとう」のほかにも感謝の気持ちを表す言葉について話題にあげていただき、年末に向けて心穏やかな日々を迎えていただければと思います。

地域や保護者の皆様へ

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り御礼申し上げます。今後も、引き続き温かな目で見守っていただければと思います。皆様、良いお年をお迎えください。